

AX3800S ・ AX3600S
ソフトウェア
アップグレードガイド

■はじめに

本資料では、ソフトウェアの機能を「L3 ライトソフトウェア」から「L3 アドバンスソフトウェア」にアップグレードする方法、および、「L3S ライトソフトウェア」から「L3S アドバンスソフトウェア」にアップグレードする方法について説明します。アップグレードを行なう前に必ずお読みください。

■商標一覧

Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp.の登録商標です。
本マニュアルに記載の会社名・製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■発行

2005 年 12 月（初版）
2006 年 1 月（第 2 版）
2007 年 11 月（第 3 版）
2011 年 8 月（第 4 版）
2011 年 12 月（第 5 版）

■著作権

All Rights Reserved, Copyright (c), 2005, 2011, ALAXALA Networks Corp.

■ご注意

このアップグレードガイドは、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■ 目次

1. 概要	4
1.1. アップグレードの概要	4
1.2. アップグレードの事前準備	5
1.3. アップグレード時の注意事項.....	6
1.4. フラッシュ容量が不足していた場合	6
2. ソフトウェアのアップグレード	7
2.1. はじめに.....	7
2.2. リモート運用端末からのファイル転送	7
2.3. SD カードからのファイルコピー	7
2.4. アップグレード手順.....	8
3. VLAN トンネリング機能使用時のアップグレード手順	10
3.1. SD カードからアップグレード手順	10
3.2. 運用端末からアップグレード手順 (SD カードが無い場合)	10
付録.....	12

1. 概要

1.1. アップグレードの概要

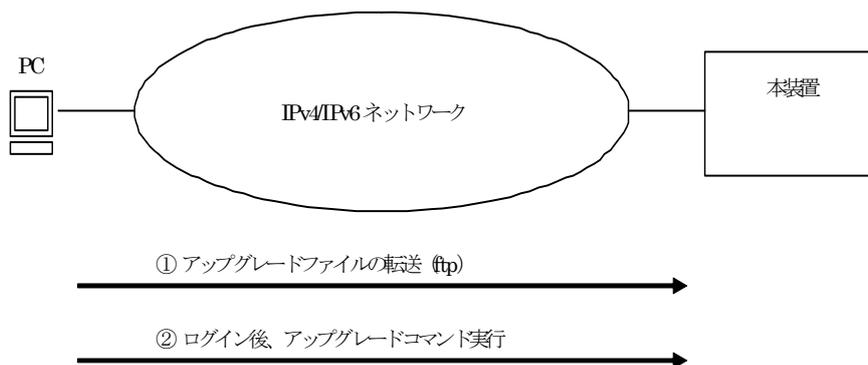
アップグレード手順には、リモート運用端末から行なう場合とSDカードから行なう場合の2方法があります。

アップグレード後は、コンフィグレーション情報およびユーザ情報（ログインアカウント及びパスワード等）、オプションライセンス情報はそのまま引き継ぎます。

また、VLAN トンネリング機能使用時のアップグレード手順については、3章を参照してください。

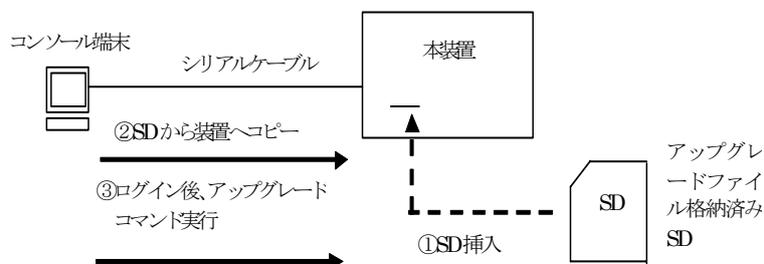
(1) リモート運用端末からのアップグレード

PCなどのリモート運用端末からアップグレードファイルを本装置に転送(①:2.2章)し、アップグレードコマンドを実行(②:2.4章)することによって行います。



(2) SDカードによるアップグレード

アップグレードファイルが格納されているSDカードを本装置に挿入(①)し、SDカードから本装置にアップグレードファイルをコピー(②:2.3章)して、アップグレードコマンドを実行(③:2.4章)することによって行います。



本アップグレード手順は、VLAN トンネリング機能等でIP通信が不可となっている場合に使用してください。

1.2. アップグレードの事前準備

本装置へアップグレードファイルを転送し、アップグレードコマンドを実行するためには表 1-2 に示す条件を満たす必要があります。アップグレード作業を行なう前に、確認を行なってください。

表 1-2 アップグレードに必要な条件

項番	アップグレード操作	条件	対処方法
1	リモート運用端末からのアップグレード	リモート運用端末 (PC 等) から、アップグレードを行なう本装置に対して、IPv4 または IPv6 でネットワーク的に到達可能な状態であること。	リモート運用端末を用意し、本装置と IP 通信ができるようネットワークに接続してください。
2		リモート運用端末において、ftp (クライアント) ソフトウェアが動作し、本装置に対してファイルの書き込み(put)ができること。	リモート運用端末において ftp クライアントソフトウェアを用意し、インストールしてください。(Windows では、OS に付属の ftp を使用できます)
3		本装置のコンフィグレーション情報において、リモート運用端末から本装置に対して ftp ができるように設定していること。	コンフィグレーション情報において、ftp-server を定義してください。また、line vty モードにアクセスリスト定義が存在する場合にはリモート運用端末からのアクセスを許可する設定としてください。
4		本装置のユーザ ID、パスワードを決めておくこと。	ユーザ ID に対するパスワードを設定してください。
5		リモート運用端末またはコンソールから、アップグレードを行なう本装置に対してログイン可能なこと。	リモート運用端末から telnet によりログインを行なう場合には、telnet 機能を動作させる設定としてください。(コンフィグレーションで line vty コマンドで設定できます)
6	SD からのアップグレード	コンソール端末から本装置へログインが可能なこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンソール端末と本装置をシリアルケーブル (クロス) で接続してください。 ・コンソール端末のターミナルエミュレータアプリケーションが使えるようにしておいてください。
7	共通	アップグレードファイルを転送することができるフラッシュの空き容量が確保されていること。 旧バージョンと新バージョンのファイルサイズの差分が必要な容量となります。 ファイルサイズは、 “ls -l <ファイル名>”コマンドで、確認ください。	フラッシュの容量不足のためアップグレードファイルの転送ができない場合には 1.4 節の「フラッシュ容量が不足していた場合」を参照してください。
8		管理者(enable)となるための権限があること。	アップグレードコマンドの実行には enable コマンドで管理者となる必要があります。

1.3. アップグレード時の注意事項

(1) ファイル転送時の注意事項

- ftp でファイル転送する場合、必ず `binary mode` で転送してください。 `binary mode` でない場合は、アップグレードコマンドが失敗します。
- アップグレードファイルは本装置上に `upgrade.dat` というファイル名で転送してください。既にファイルが存在している場合は、既存ファイルに上書きします。転送先およびファイル名を間違った場合は、間違ったファイルを削除して転送しなおしてください。

(2) SD カードからのファイルコピーする場合の注意事項

- SD カードは、アラクサラ製品を使用してください。
- 事前にパソコンなどを使用して SD カードにアップグレードファイルを格納しておいてください。

(3) アップグレードコマンド実行時の注意事項

- 複数のユーザで同時にアップグレードコマンド実行は行わないでください。
- 編集モードでは、アップグレードコマンド実行はできません。
- アップグレード前にコンフィグレーション情報のバックアップをしてください。
- `k.img` ファイルは、削除しないでください。異常終了時にファイルの復旧ができなくなります。
- アップグレード実行中は、電源の `off/on` は行わないでください。電源が `off` になった場合は、再起動後、最初から再実行してください。
- コンフィグレーション情報をオンラインで編集後ファイル保存を行っていない場合にはアップグレード前にコンフィグレーションコマンドの `save` を行い内蔵フラッシュに保存してください。 `save` を行わない場合には、装置の再起動によりコンフィグレーション情報変更前の状態に戻ります。
- アップグレード対象の装置モデルに対応したアップグレードソフトウェアを使用してください。異なるアップグレードソフトウェアの場合、アップグレードできません。
- アップグレード CD-ROM 内に `ppupgrade_command_password.txt` ファイルが存在しない場合、アップグレード CD-ROM 内の `upgrade.pdf` を参照してください。

1.4. フラッシュ容量が不足していた場合

- `/usr/var/core`/配下のファイルを `rm` コマンドで削除してください。
- `erase protocol-dump unicast all` コマンドを実行してください。
- `squeeze` コマンドを実行してください。
- ユーザ領域に保存しているユーザファイルを削減してください。

2. ソフトウェアのアップグレード

2.1. はじめに

以下の 2.2 又は 2.3 の手順に従いアップグレードファイルを装置に転送して、2.4 の手順でアップグレードを実施してください。

2.2. リモート運用端末からのファイル転送

付録 の「ファイル転送手順」に従い、ホームディレクトリ上にアップグレードファイルを転送してください。（必ず binary mode で転送してください）

2.3. SD カードからのファイルコピー

SD カードから本装置へのファイルコピー手順を以下に示します。

- ①アップグレードファイルが格納されている SD カードを本装置へ挿入してください。
- ②本装置にログインをしてください。
- ③"`ls mc-dir`" コマンドでSDカードにアップグレードファイルが格納されていることを確認してください。
- ④"`cd`" コマンドを投入し、カレントディレクトリをホームディレクトリにしてください。
- ⑤"`cp mc-file`" コマンドでSDカードから本装置へアップグレードファイルをコピーしてください。
- ⑥"`ls -l`" コマンドで本装置へコピーしたファイルとSDカードのファイルのサイズが同じであることを確認してください。

```

> ls mc-dir                                     ②
Name      Size
upgrade.dat  33                                     ← (ファイル名とファイルサイズの確認)
> cd                                             ③
> cp mc-file upgrade.dat upgrade.dat          ④
>
> ls -l                                         ⑤
total 14872
-rwxrwxrwx  1 root  wheel  33 Dec 19 14:26 upgrade.dat ← (ファイルサイズの確認)

```

2.4. アップグレード手順

ソフトウェアの機能を「L3 ライトソフトウェア」から「L3 アドバンスソフトウェア」にアップグレード、または、「L3S ライトソフトウェア」から「L3S アドバンスソフトウェア」にアップグレードします。アップグレード手続き終了後に装置が自動的に再起動します。再起動時には通信が一時的に中断されますのでご注意ください。また、事前に本装置にアップグレードファイルをファイル転送(2.2章)又はSDカードからファイルコピー(2.3章)しておいてください。

以下の手順に従い、アップグレードを実施してください。

手順は、「L3 ライトソフトウェア」から「L3 アドバンスソフトウェア」にアップグレードする例です。「L3S ライトソフトウェア」から「L3S アドバンスソフトウェア」にアップグレードする場合は、L3LはL3SL、L3AはL3SAとなります。

- ① ユーザが設定したユーザ ID (例えば operator)で本装置へログインしてください。
- ② “enable” コマンドを入力してください。コマンドプロンプトが“#”に変わります。
- ③ “ls -l”コマンドを実行してください。
- ④ 転送したファイルのサイズが、端末にある転送前のファイルサイズと等しいことを確認してください。
- ⑤ “ppupgrade upgrade.dat”と入力してください。
- ⑥ パスワードを聞かれるので、パスワードを入力してください。
パスワードはアップグレード CD-ROM 内の
ppupgrade_command_password.txt ファイルで提供されます。
- ⑦ アップグレード完了後、自動的に装置が再起動します。再起動後、再度ログインしてください。
- ⑧ “show version”コマンドを実行し、“OS-L3A(upgrade)”と表示されることを確認してください。以上でアップグレードは終了です。

```

BOOT 00.02.00
Loading from dev0 100%

login: operator ①

Copyright (c) 20XX ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.

> enable
# ← (“#” と表示されることを確認) ②
#
# show version
Date 20XX/12/19 11:21:01 UTC
Model: AX3630S-24P
S/W: OS-L3L Ver. 10.0
H/W: AX-3630S-24P-L [TA036L24P000S03015AD004:80320101:1183:2B504]
#
# ls -l
total 1
-rw-r--r-- 1 operator users 33 Dec 19 11:22 upgrade.dat ← (ファイルサイズの確認) ④
#
# ppupgrade upgrade.dat
Upgrade password: xxxxxxxx ← (パスワードの確認) ⑥
Automatic reboot process will be run after upgrade process.
Do you wish to continue? (y/n) y

Software upgrade ... done
Rebooting ...
#
ROM 00.02.24
.....

BOOT 00.02.00
Loading from dev0 100%

login: operator ← (再起動後のログイン) ⑦

Copyright (c) 20XX ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.

>
> show version
Date 20XX/12/19 11:24:50 UTC
Model: AX3630S-24P
S/W: OS-L3A(upgrade) Ver. 10.0 ← (バージョンを確認) ⑧
H/W: AX-3630S-24P-L [TA036L24P000S03015AD004:80320101:1183:2B504]
>

```

3. VLAN トンネリング機能使用時のアップグレード手順

バージョン 10.2 より前のバージョンの場合において VLAN トンネリング機能使用時は、装置のインタフェース (VLAN) に IP アドレスの設定ができません。

そのため、VLAN トンネリング機能使用の装置に対するアップグレードは、アラクサラ製品の SD カードを購入してもらい、SD カードからのアップグレードを推奨します。

3.1. SD カードからアップグレード手順

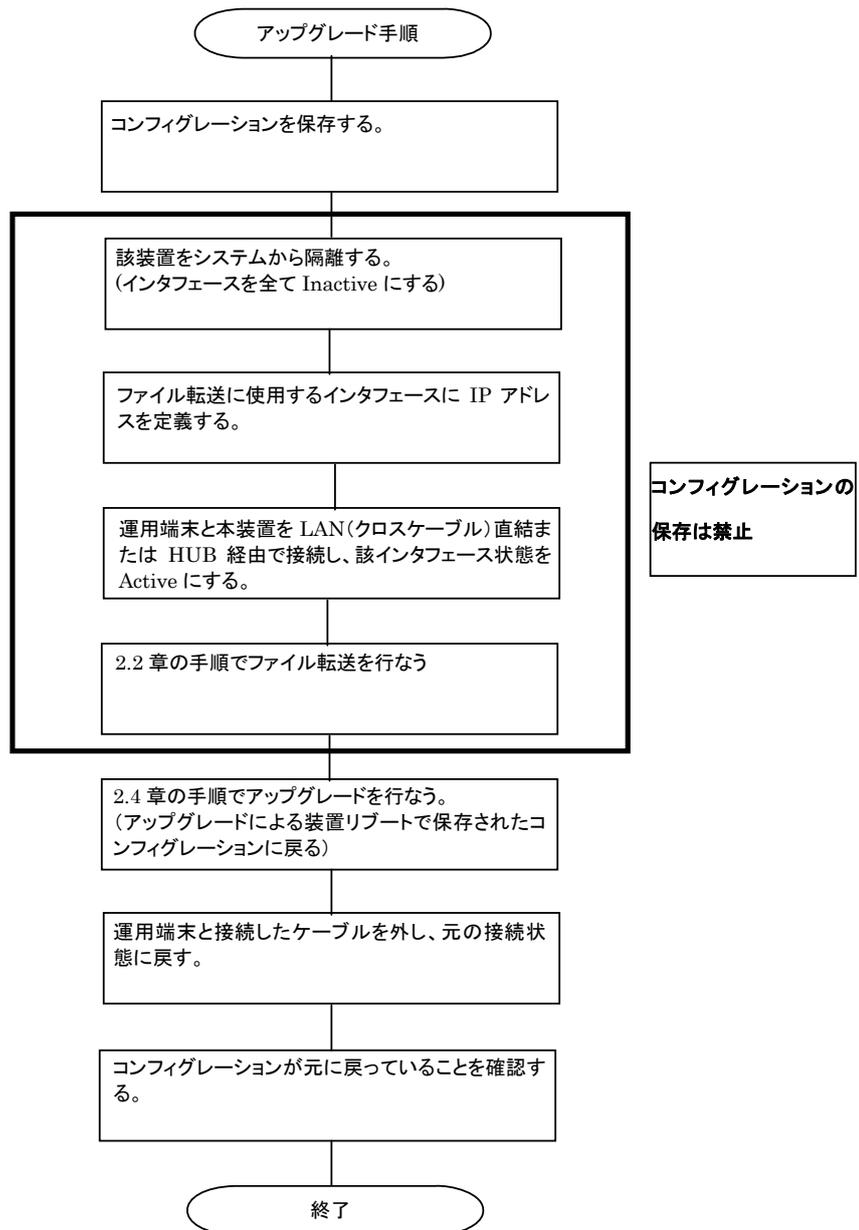
2.3 章と 2.4 章の手順により、アップグレードを行ってください。

3.2. 運用端末からアップグレード手順 (SD カードが無い場合)

バージョン 10.2 より前のバージョンの場合において VLAN トンネリング機能使用時は、装置に IP アドレスが設定できないため、VLAN トンネリング機能を削除し、かつ、IP アドレスを定義 (IP 通信を可) するため、システムに対する影響を考慮し、アップグレード実施前に以下の事前準備を行なうことを推奨します。

- (1) 装置をシステムと隔離するため、全インタフェースを **Inactive** としてください。
- (2) アップグレードファイルをファイル転送する運用端末は、LAN ケーブル (クロスケーブル) で本装置と直結する、または、HUB には運用端末と本装置のみ接続してください。

アップグレード手順を以下に示します。



付録

・ファイル転送手順

- ① CD-ROM ドライブにアップグレード CD-ROM をセットしてください。
- ② PC 上で MS-DOS プロンプトを実行してください。
- ③ CD-ROM ドライブの「soft」ディレクトリに移動してください。
- ④ “dir”コマンドで、ファイル名(upgrade.dat)とファイルサイズを確認してください。
- ⑤ ftp コマンドで、装置に接続してください。
- ⑥ ユーザ名を聞かれるので、装置のログイン名を入力してください。
- ⑦ パスワードを聞かれるので、パスワードを入力してください。
- ⑧ binary modeで転送するため、“bin”と入力してください。
- ⑨ ソフトウェアを装置上のホームディレクトリ配下に転送してください。
- ⑩ “bye”と入力してください。

```

C:\WINDOWS> e: (CD-ROM ドライブが E ドライブの場合)
E:\>cd soft
E:\soft>dir

2005/11/24 22:44 33 upgrade.dat ←(ファイル名・ファイルサイズを確認する) ③
E:\> ftp 192.168.1.1 ←(本装置の IP アドレスが 192.168.1.1 の場合)
User (192.168.1.1:(none)): operator ←(本装置のログイン名を指定) ⑥
Password:***** ←(パスワードを指定) ⑦
ftp> bin
ftp> put upgrade.dat
ftp> bye

```